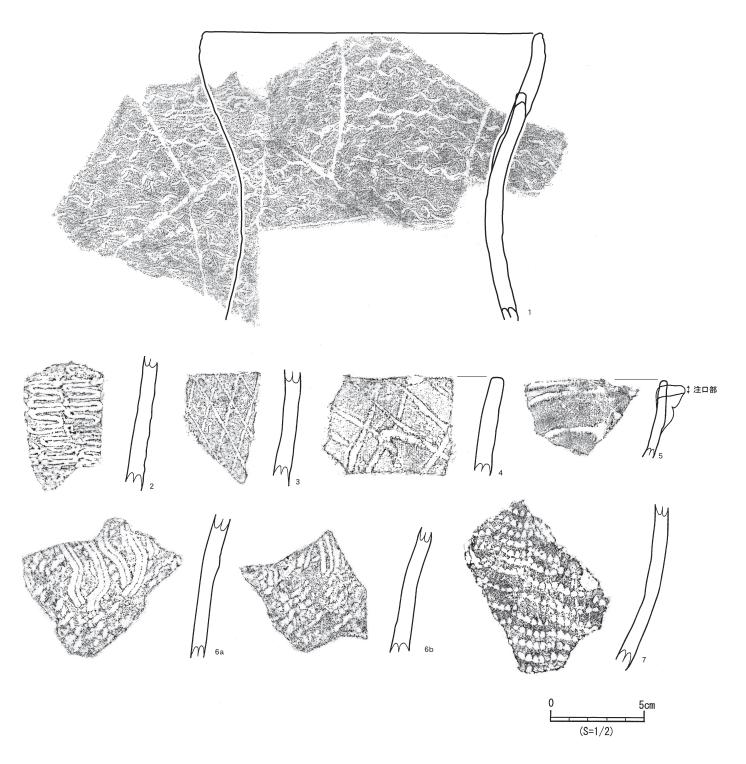
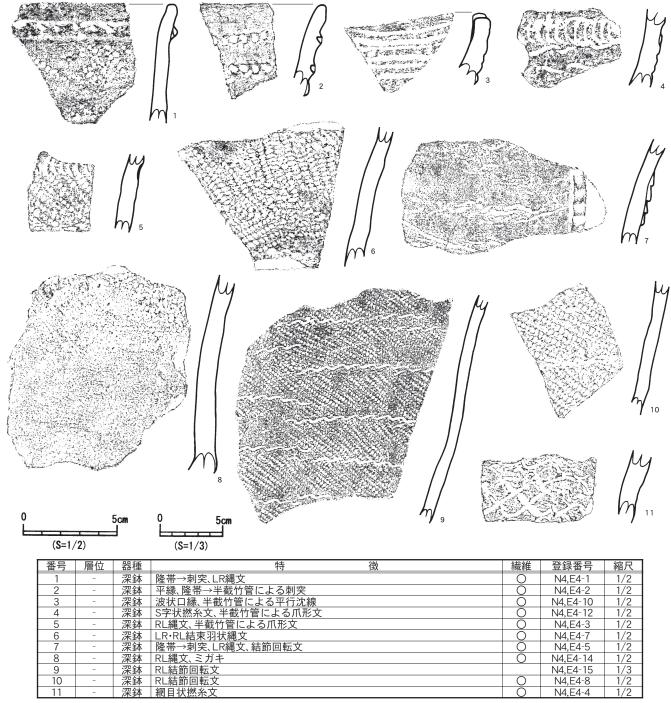


A地点表採土器 (7) 第36図



番号	層位	器種	特 徴	繊維	登録番号	縮尺
1	表採	深鉢	山形口縁、S字状撚糸文	0	表-S20	1/2
2	表採	深鉢	RL撚糸文(単軸絡条体3類?)	0	表-77	1/2
3	表採	深鉢	斜位沈線文	0	表-98	1/2
4	表採	深鉢	平縁、斜位沈線文		表-7	1/2
5	表採	深鉢	注口付、沈線?		表-115	1/2
6a	表採	深鉢	平行沈線文による垂下波状文		表-S4	1/2
6b	表採	深鉢	平行沈線文による垂下波状文		表-S4	1/2
7	表採	深鉢	櫛歯状工具による刺突?	0	表-113	1/2

第37図 A地点表採土器(8)



第38図 A地点遺構外出土土器

## A-2. B地点出土土器

B地点からは計2,376点出土し、91点を図示した。器種は深鉢形と浅鉢形が見られ、その多くが胎土に繊維を含んでいる。

# (1)第1トレンチ出土土器 (第39・40・41図)

1トレンチは1~11層に分層できた。2層は流出土、6層は混貝土層で、11層が地山に相当する。232点出土し、31点を図示した。斜面下部の9・10層から出土したものが多い。器種はいずれも深鉢形であり、胎土に繊維を含むものが多い。口縁部形状は平縁と波状口縁がある。口縁部文様については、刺突文(39図2・41図5)や平行沈線文(41図1・2)、コンパス文(41図3)などがある。地文は、39図1・3などの0段・単節・複節の斜行縄文や41図10の組紐回転文、39図4・40図4の羽状縄文、結節

回転文(39図5・7・8など)、撚糸文(39図6、41図12~14など)がある。撚糸文は網目状撚糸文と葺 瓦状撚糸文がある。41図16のように網目状撚糸文と平行沈線の異なる文様を胴部に隣接して施文する ものがある。40図2は口唇部に剣先状貼付文をもつことから縄文中期の大木8b式である。内面調整は ナデとミガキ調整がある。

## (2) 第2トレンチ出土土器 (第42図)

2トレンチは $1\sim18$ 層に分層でき、 $9\sim11$ 層が貝層である。 $13\sim18$ 層は流出土を主体とする二次堆積層である。178点出土し、14点を図示した。

器種は深鉢形と浅鉢形(5・7)がある。口縁部形状は平縁と波状口縁がある。口縁部文様については、刺突や刻目を持つ隆帯や粘土紐貼付、縄文原体圧痕(3・4)があるが、これらは文様構成や施文方法から縄文中期の土器である。地文については、結節回転文、木目状撚糸文がある。4は木目状撚糸文による菱形文を多段化させている。1は胎土に繊維を含まず、縦位の結節回転文を持つことから縄文中期の土器である。内面調整はナデとミガキ調整がある。

#### (3) 第3トレンチ出土土器 (第43・44図)

3トレンチは $1\sim6$ 層に分層でき、斜面上部からの流出土を主体とする二次堆積層である。399点出土し、30点を図示した。

口縁部形状は平縁と波状口縁がある。口縁部文様については、半截竹管による押引風沈線や波状文(43図1)、半截竹管や棒状工具による刺突(43図9・10・25)がある。地文については、単節斜縄文(43図2・11・13など)、複節斜縄文(44図27)、羽状縄文(43図3・14・15など)、結節回転文(43図5・16など)、撚糸文(43図18~24など)がある。羽状縄文には結束と非結束のものがある。単節縄文や羽状縄文には末端結節した原体を使用しているもの(43図4・44図28)もある。撚糸文は木目状撚糸文と網目状撚糸文がある。43図12は鋸歯状沈線文や弧線文のモチーフから縄文前期後葉の大木5式である。内面調整はナデ調整が主体である。

#### (4)表採土器 (第45·46図)

表採資料は1,504点出土し、30点を図示した。大型の破片が多いが、その多くは縄文中期の土器である。

口縁部形状は平縁と波状口縁がある。45図6~9は縄文中期の口縁部資料で、縄文圧痕やボタン状貼付、渦巻隆帯文などが付く。口縁部文様については、半截竹管による押引風沈線や刺突文(45図1)、半截竹管による波状文や連続刺突文(45図4)などがある。地文については、単節斜縄文(45図5・10)、羽状縄文(45図12)、撚糸文(45図13・14)、結節回転文(46図15)などある。46図16は、胴部に隆沈線による渦巻き文が施文される大木8b式である。



第39図 B地点第1トレンチ出土土器(1)